

# 国労の組織介入=攻撃を許すな!

動労車庫場一四〇〇名は、即ち団結を以て闘い、  
松崎「革同」当局密約↓組織介入を許さず

国労は、五月七日、千葉の各職場で一斉にピラまきを開始し、公然たる組織介入・組織切り崩し策動を開始した。周知の通り、この「火事場ドロボー」的卑劣さをもって行われ、今回の組織攻撃が、この向の動労「本部」暴力集団による破壊「オルグ」と相呼応し、連けいして行われ、とりわけ「本部」が革マル学生部隊まで使って白昼公然と取場襲撃し、役員活動家に重軽傷を負わせ、電車の運行を阻害してまで行なった。四・一七津田沼襲撃事件を最大限に利用して行われ、この点を徹底的に弾効しなればならない。  
われわれは、四月破壊「オルグ」攻撃を完全に粉砕した不拔の団結力と、日常不断に築き上げてきた路線の正義性を真正面から叩きつけ、この卑劣な攻撃をこなごなにうちくだいていこうではないか!

## 「火事場ドロボー」的組織攻撃 に走った国労「一部悪質幹部」 を徹底弾効し、その責任を追及する。

この攻撃のもつ反動性・卑劣さのオ一は、全力で叩きついている者組織を背後から襲い、組織拡大のチャンスとばかりに介入をはかる卑劣性である。

この恥ずべき方針とピラを天下りに下ろされてきた各職場の真面目な国労組合員は、「こんな卑怯なピラなんか撒けるか!!」「今までの共闘体制を大切にすべきだ」「動労本部」のオルグは、我々国労取場まで荒らしてやるじやないか。幹部は動労本部に抗議するのがスジだ」と一斉に反発し、抵抗がまき起っている。  
われわれは、労働者の風上にも置けないこの攻撃を徹底的に粉砕する。とりわけ、その最先端で血道を上げている国労内日共・右翼幹部の責任を徹底追及し、即ち国労組合員との正しい共闘関係を維持発展させるために全取場で総決起するであろう。

この攻撃のもつ反動性のオ二は、このような国労内一部悪質幹部の提唱する路線・組織方針が、即ち国鉄労働運動を解体し、ますます右翼化・企業内化・御用組合化への道をはき清めるものだという事である。  
組織介入=攻撃用に作られたピラは、さも

もってもらしく、「一企業一組合論」なるものを掲げている。しかし、「スト自粛」経営参加「論」や、鉄労まで含めて「組合一本化」統一懇談会「方式」の超右翼的方针を見るまでもなく、これが国鉄労働運動、更には総評運動をますます右傾化させ、その行きつく先が、「鉄労並みに一本化された御用大単産(当局の永年の夢でもある)」としての帝国主義的労働運動にほかならないものであることは、もはや明らかである。

逆に、「火事場ドロボー」的にしか持ち出せないエセ統一論、「一企業一組合論」なる反労働者性・セクト性がますます明らかになるだけである。

## 万策尽きはてて、遂に、国労内 日共にとりすがった動労革マル 動労組織を当局・国労に売りわたす 松崎「革同」(日共)密約を弾効する。

この攻撃の反動性・卑劣さを示すオ三の最重要点は、この動労千葉破壊(当然にも全国的に動労への組織介入へと引き継がれる事は眼に見えている!)策動が実は松崎「革同」(日共)密約の上で開始されたという決定的犯罪的事実がバク口された事である。(公労内、更には国労内指導者の中からさえ、そのエグゼクティブな破れん恥に批判が起きているのだ)。千葉破壊「オルグ」に完敗したからといえ、これはとむき出しの革マル「日共連合」に走った本部暴力集団の暴挙「動労売り渡し」を断じて許さず、即ち動労の伝統を守り、毅然と叩きつ